

第2期終了しました。

EPO 第2期

—知的（発達）障害のある人の支援と関係性を考える—

“支援者エンパワメント塾”

7月・8月・9月の土曜日に関講！参加お申し込み下さい！
寺子屋風に入れ替えなしで3回通して、よくよく分かりたい塾へ。

- 期日 2012年7/21・8/18・9/29の3回。土曜日の午後5：30～
- 定員 100名（定員になり次第締切り）
- 会場 新大阪丸ビル（JR新大阪駅・東出口から徒歩5分。）
- 受講対象 知的（発達）障害者の支援にかかわる方、並びに本テーマに関心のある方（福祉・教育・保育・相談・行政・司法・医療・大学の各機関・現場等）
- 受講料 6,000円（資料代込み）
- 申込先： Fax 06-6320-6068 ・Eメール npoeпо@nifty.com

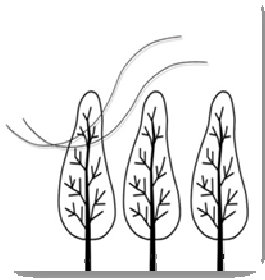
<とともに生きる - 知的（発達）障害者の「横の支援」>

■第1回 7/21（土）

事例発表 ①：「周りの子にイラッとしてよく手が出る発達障害児」

—今年、保育所から学童保育へ移ったが、一見、支援の必要のない普通にできる「すばっこい子」に見えても何かとトラブル。みんなの中にどう入れていったらいいのか？

保育士&学童の指導員（聖愛園・東淡路子ども館）



事例発表 ②：「日中の通所仕事に出たがらないM男さん」

—ケアホーム暮らし3年。知的レベルは2、3歳で、生活年齢は50歳。愛着関係が作れず、ときに殴ってくる。あの手この手で誘導しても、言わずとも「仕事へ行きたくないなモード」が漂う、はてさて・・・

支援員（ケアホーム「ういるハウス」・日中支援事業「ういず守口」）

■第2回 8/18（土）

講義「子どもの文化」（第1回の事例を視野に入れて）

—子ども同士の遊び・文化から、なかまづくり、地域づくりの支援を考える。

堀 智晴（常盤会学園大学）

■第3回 9/29日（土）

講義「天才とおくれのつながり方」—障害と創造性の不思議の世界・映画『レインマン』から、ダウン症書家・金澤翔子さんの書まで—

村瀬 学（同志社女子大学）

フォーラム「これまでの提起から—支援と関係性を考える（仮題）」

村瀬 学・堀 智晴・楠 敏雄（研究者・障害当事者）